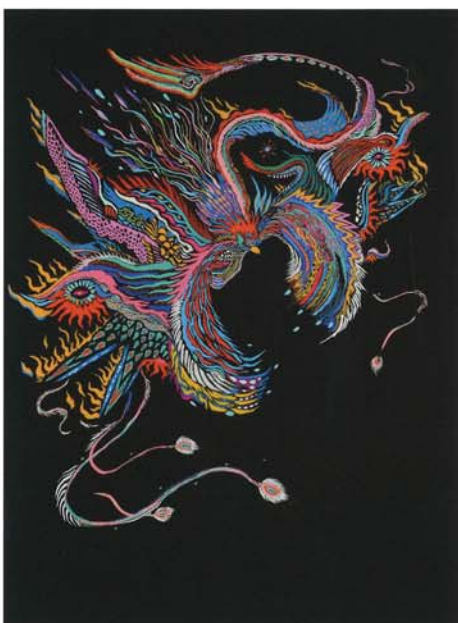




荻野 綱久

Tsunahisa Ogino

ものごころつく頃より、ファッションや音楽などに興味を抱く。12歳の頃に、ロックミュージックに深く魅了され、その世界へとめり込む。自身がリーダーとなるロックバンドを率い、グッズ、フライヤー等、総合的なプロデュースを手がける。この頃よりそのデザイン性が注目を浴び始める。とある日、デザイン画を父片岡鶴太郎に見せたところ、実際にキャンバスに思うように自由に絵を描く事を強く薦められる。そして一枚の絵を完成させてからは、引きずり込まれるかの如く、アートの世界へと没頭していく。現在、オギノマネージメントコーポレーションのアーティストとして製作活動中。



「鳳凰Phoenix」130.3×97 アクリル絵具／キャンバス
2016



「butterfly red」72.7×60.6 アクリル絵具／キャンバス 2016



「独翔」116.7×91 アクリル絵具／キャンバス 2016



「瞬き」100×80.3 アクリル絵具／キャンバス 2016

PICK UP



▲オープニングパーティにて 左から片岡鶴太郎氏、
コシノヒロコ氏、荻野綱久氏

◀荻野綱久氏

荻野綱久鮮烈デビュー

片岡鶴太郎×コシノヒロコ×荻野綱久 ～森羅万象～

2016年6月17日(金)～7月18日(祝・月)

会場：KHギャラリー銀座 協力：オギノマネージメントコーポレーション 株式会社ヒロココシノ

自然を見つめ、四季の彩りを描く片岡鶴太郎。

その息子である荻野綱久は、シンボリックな幻想世界を描く。

迎えるコシノヒロコは、樹々の絵画に生命への慈しみを込める。

“この宇宙に存在する、すべてのものへの思いを込めて”

三人の作家が描く「森羅万象」のコラボレーションは、
荻野綱久の鮮烈デビューもあり観客を大いに魅了した。

役者として、画家として多彩な才能を発揮する片岡鶴太郎（以下片岡氏）。

そしてその息子である荻野綱久（以下荻野氏）。

ファッションデザインの第一線で活躍するコシノヒロコ（以下コシノ氏）の3人による展覧会が、銀座にあるKHギャラリーで開催された。

KHギャラリーはアーティストとしても活躍するコシノ氏のアート作品を展示する画廊である。

毎回注目の作家とコラボレーションした展示を行っており、今回は片岡鶴太郎・荻野綱久親子との共催となった。

異なる分野を行き来する、三者の世界観が一堂に会した今回の展覧会では、片岡氏は未発表作品を、コシノ氏は新作シリーズを中心に発表し、荻野氏はこれまで描きためてきた作品を発表した。

20年を超える画歴を誇る片岡氏と、コシノ氏が彩る空間に、今回初展示の荻野氏の若々しい感性がアクセントを加えていた。



会場となったKHギャラリー銀座